

令和6年度事業報告

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

配合飼料については、為替相場の変動による飼料輸入価格の高騰が続いていましたが、補てん対象となりうる変動もなく補てんの発動も前年度の分割交付だけとなった。

今後も引き続き日米金利差の動向に左右される相場展開が見込まれており、しばらくは注視していかなければなりません。補てん事業では、国の緊急補てん・特別対策により生産基盤の維持ができた一方で、配合飼料高騰長期化の影響により廃業など、農家戸数の減少に歯止めがかかりません。配合飼料価格差制度では、国の緊急補てん交付時には財源を確保するために多額の借入金を抱えることとなり「配合飼料価格安定制度にかかるワークショップ」が行われており、各関連団体より制度見直しに向けた意見が出され、論議が進んでいるところです。家畜伝染病については、全国的に鳥インフルエンザが相次いで発生し、豚熱の発生も確認されましたが三重県内での発生は確認されませんでした。

このように畜産を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、当協会では（一社）全日本配合飼料価格畜産安定基金、荷受組合と連携し、速やかな補てん金の交付や特別補てん金の交付に努めるとともに、関係機関と連携し肉用牛肥育経営安定交付金制度（マルキン事業）等の畜産振興事業を推進し、畜産経営の安定にも努めてまいりました。

I 定 款 事 項

1. 配合飼料価格差補てん事業

配合飼料価格の変動によって生ずる畜産経営者の損失を補てんすることにより、畜産経営の安定を図るため、当基金協会業務方法書及び（一社）全日本配合飼料価格畜産安定基金と締結した配合飼料価格差補てん基本契約（契約期間：令和3年度～令和6年度）、数量契約（契約期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日）に基づき事業を実施した。

（1）令和6年度配合飼料価格差補てん契約数量

令和6年度契約飼料荷受組合	13 荷受組合（加入者数168件）
令和6年度年間契約数量	293,134トン
令和6年度契約解約件数	3件（年度内廃業）
令和6年度契約解約数量	27トン

令和6年度畜種別契約数量及解約状況

(単位：トン)

畜 種	R6年4月当初(件/トン)		数量変更(件/トン)		R7年3月末(件/トン)	
乳 牛	13	15,138	1	20	12	15,118
肉 牛	64	43,439	1	5	63	43,434
豚	27	51,427	0	0	27	51,427
採卵鶏	57	170,970	1	2	56	170,968
肉用鶏	7	12,160	0	0	7	12,160
計	168	293,134	3	27	165	293,107

(2) 通常補てん積立金及び別途納付金の徴収と納付

令和6年度の積立金は、通常積立金トン当たり800円。

区 分	単価/トン
通常補てん積立金	800円/トン
別途納付金 ・新規加入者	0円/トン
・前年度第2四半期以降解約再加入者	970円/トン
・前年度第3四半期以降解約再加入者	1,590円/トン
・前年度第4四半期以降解約再加入者	1,720円/トン

令和6年度通常補てん積立金納付状況

対象期間	対象数量(トン)	単価(円)	積立金額(円)	納付年月日
第1四半期	72,876	800	58,300,800	R6年4月30日納入
第2四半期	70,744	800	56,595,200	R6年6月28日納入
第3四半期	75,293	800	60,234,400	R6年9月30日納入
第4四半期	74,194	800	59,355,200	R6年12月27日納入
合 計	293,107	800	234,485,600	

(3) 価格差補てん金の交付状況

令和6年度価格差補てん金交付状況 [通常価格差補てん金については分割支払い]

※令和5年度第1・2・3四半期は令和6年度処理のため記載

対象期間	対象数量(kg)	単価(円)	補てん金額(円)	交付年月日
R5年第1分割残	72,125,894	1,057	76,237,036	R6年5月16日
R5年第2分割残	68,498,556	400	28,378,403	
R5年第3分割残	75,586,586	627	47,392,758	
R5年第2分割残	71,185,000	1,450	98,343,915	R6年8月16日

2. 畜産環境整備リース事業（一般財団法人畜産環境整備機構との貸付契約に基づく事務）
一般財団法人畜産環境整備機構と借受者との連携を図り、リース料の徴収と畜産保全の推進を図り、以下のとおり事業を実施した。

事業契約者 4 件
委託事務費 25,108 円

区分	総 額	当初残額	徴収納付額	6 年度残額
経 営 3 戸	29,654,000	5,658,320	5,658,320	0
環 境 1 戸	31,150,000	28,259,653	4,876,025	23,383,628
合 計 4 戸	60,804,000	33,917,973	10,534,345	23,383,628

3. 肉用子牛生産者補給金に関する事業（一般社団法人三重県畜産協会からの事務委託事務）

肉用子牛生産者補給金制度は、肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用子牛価格が保証基準価格を下回った場合に、その再生産を確保するため、生産者の拠出と国の助成により造成した基金から契約生産者に対して補給金を交付する制度であり（一社）三重県畜産協会からの事務委託を受けて、以下のとおり事務事業を実施した。

委託事務内容 登録、販売及び保留等申出書の受理、確認、報告、指導等
対象農家数 10 戸（内、事業遂行農家 8 戸）
登録頭数 250 頭（肉用 193 頭 ・ 乳牛 5 頭 ・ 交雑 52 頭）
委託事務費 127,100 円（和子牛生産者臨時経営支援事業含む）

<発動状況>

◎令和 6 年度肉用子牛生産者補給金交付事業

全国的な子牛価格の下落をうけ黒毛和種に発動があった。

対 象	頭数	生産者補給金額	補給金交付日
令和 6 年度第 1 四半期	3	665,400	令和 6 年 9 月 24 日
令和 6 年度第 2 四半期	4	3,710,700	令和 6 年 12 月 23 日
令和 6 年度第 3 四半期	6	1,599,800	令和 7 年 3 月 21 日

4. 肉用牛肥育経営安定交付金制度事業（一般社団法人三重県畜産協会からの事務委託事務）

本制度は、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肥育牛生産者に対し、その差額の 9 割を交付金として交付することにより、その経営に及ぼす影響を緩和する制度であり、（一社）三重県畜産協会からの委託を受けて、以下のとおり事務事業を実施した。

委託事務内容 登録申込書及び販売等申出書の受理、確認、報告等
 対象農家数 25戸
 個体登録数 4,477頭（肉用 3,726頭・乳牛 4頭・交雑 747頭）
 販売頭数 4,304頭（肉用 3,595頭・乳牛 4頭・交雑 705頭）
 異動頭数 98頭（肉用 79頭・乳牛 1頭・交雑 18頭）
 委託事務費 1,149,482円

5. 飼料価格高騰緊急対策事業（三重県事業）

配合飼料価格の異常な高騰が続き、経営が厳しくなっている畜産経営者を対象に、配合飼料価格高騰分の一部を補助するため緊急対策事業の委託を受けて補てん金（補助金）交付事業を推進する。

交付件数 価格差補てん契約者で事業参加を希望した者
 補てんの額 411,814,173円
 委託事務費 240,000円

6. その他畜産振興を目的とする事業

（1）優良和子牛生産推進緊急支援事業（（一社）三重県畜産協会委託事業）

子牛価格の下落に対応するため、臨時的に優良和子牛生産者への支援を行う。
 飼養管理向上に取り組む生産者の奨励金の交付があった。

対 象	頭数	生産者補給金額	補給金交付日
令和6年度第1四半期	26	780,000	令和6年9月24日
令和6年度第2四半期	46	1,380,000	令和6年12月23日
令和6年度第3四半期	27	790,000	令和7年3月21日

II 管理運営事項について

1 役員会の開催及び総会

①総 会

開催年月日	会議名	審議事項等
令和6年 5月15日（水）	第49回定時総会	1. 令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書の承認 2. 令和6年度年会費の賦課並びに納入方法の承認 3. 一時借入金最高限度額の承認 4. 飼料価格高騰緊急対策事業について 5. その他総会に付議すべき事項

②理事会

開催年月日	会議名 (開催場所)	審議事項等
令和6年 5月15日(水)	第1回理事会	1. 第49回定時総会の招集及び総会提出議案について
令和6年 10月28日(月)	第2回理事会	1. 令和6年度上半期の業務執行状況の報告について 2. 飼料価格高騰緊急対策事業について 3. その他
令和7年 3月27日(木)	第3回理事会	1. 令和6年度下期の業務執行状況について 2. 令和7年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の承認について 3. 飼料価格高騰緊急対策事業の報告 4. 第50回定時総会の招集について 5. その他

③監査会

開催年月日	会議名	審議事項等
令和6年 4月30日(火)	監査会 (本会会議室)	令和5年度会計及び業務の監査

Ⅲ. 正会員の異動

	期 首	期 中 の 動 向		期 末
		加 入	脱 退	
飼料荷受組合	14			14
配合飼料製造業者	14			14
合 計	28			28